

(公財)福島イノベーションコースト構想推進機構「復興知事業」
大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業

～「復興知」の総合化による食・農・ふくしま未来学の展開～
「復興知事業」大熊町分科会公開シンポジウム
大熊町の復興で超えるべき課題(5つの大学が提案します)

開催要領

- 1 目的 「復興知事業」大熊町分科会の各大学がそれぞれの角度から、大熊町の課題を明らかにし、それらの解決のきっかけを見出すことを提案します。発表後、議論を交わし、各大学の復興知事業の今後の活動に向けた明確化と周知を図ります。
- 2 日時 2021年12月2日(木) 午後13時から午後16時30分
- 3 場所 交流施設「linkる(りんくる)大熊」多目的ホール
(福島県双葉郡大熊町大川原南平1207-1)
<https://okumakouryu.jp/linkru/>
- 4 対象者 大熊町の方、「復興知」関係大学、および自治体の方 ほか
- 5 参加費 無料
- 6 事業内容
開会挨拶 13時
趣旨説明 13時10分
講演 13時20分～16時
福島大学、東京大学(共同申請校 福島工業高等専門学校)、立命館大学、
大阪大学、長崎大学
総合討論 16時
閉会挨拶 16時30分
- 7 参加方法 (会場参加、オンライン)
会場参加 : 定員50名 事前申し込み不要
オンライン: ZOOM 事前登録制

「復興知事業」大熊町分科会

【大熊町、福島大学(幹事校)、東京大学、立命館大学、大阪大学、長崎大学】

(問い合わせ先) 福島大学 復興知事業事務局

(復興知事業 HP) <https://fukkouchi.com/wordpress/>

2021年12月2日(木)

13:00 開会挨拶 大熊町副町長 島 和広
13:10 趣旨説明 福島大学教授 新田 洋司

13:20 ◆課題◆ 放射線の健康リスクコミュニケーション

「放射線健康リスクコミュニケーション活動を通じた大熊町復興支援活動」
長崎大学 原爆後障害医療研究所 教授 高村 昇

13:50 ◆課題◆ 帰還困難区域に残る施設の有効活用

「大熊町の帰還困難区域に残る震災遺構の整備とその有効活用」
福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション学科 教授 芥川 一則
(東京大学 共同申請校)

14:20 ◆課題◆ 住民がもどるためのインフラが整っていない
県外から見るとインフラが整わないまま、
記憶の風化が起こり始めている

「浜通り地区で行う体験型総合学習について」
大阪大学 安全衛生管理部 准教授 高橋 賢臣

14:50 ◆課題◆ 長期避難後の生活再建

「少子化・人口減少における定常社会の地域づくり」
立命館大学 産業社会学部 教授 丹波 史紀

15:20 ～ 休憩 ～

15:30 ◆課題◆ 営農再開・農地保全・極端な担い手不足

「大熊町における農業のこれから」について考える
福島大学 食農学類 准教授 深山 陽子

16:00 総合討論

16:30 閉会挨拶 福島大学特任教授 横山 正

交流施設
「linkる(りんくる)大熊」
多目的ホール

